

経営比較分析表（令和3年度決算）

群馬県 川場村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	88.49	90.53	1,760

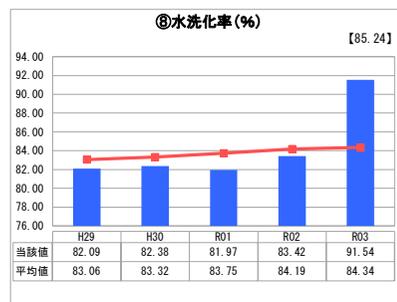
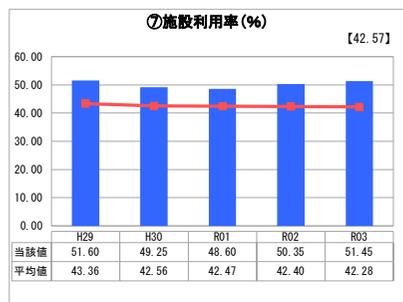
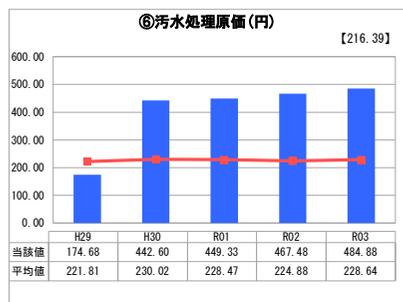
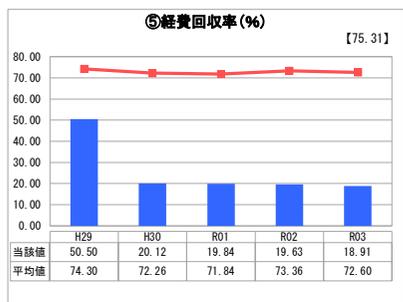
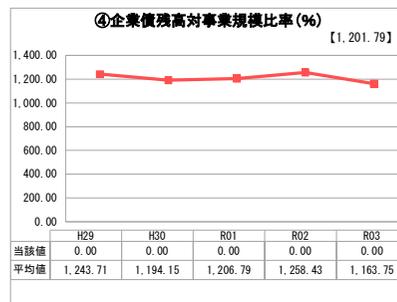
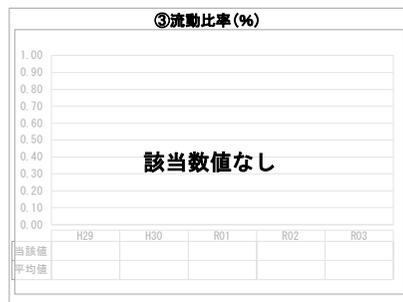
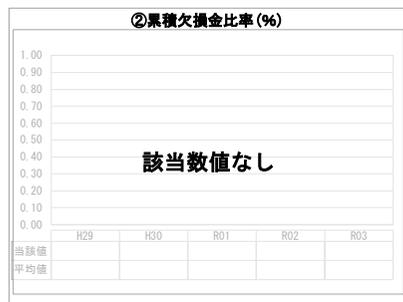
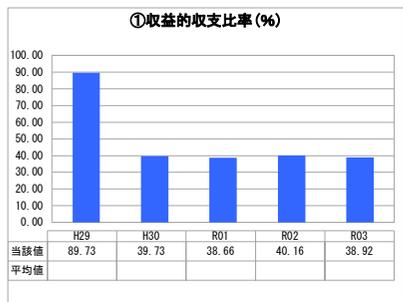
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,181	85.25	37.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,791	1.58	1,766.46

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」、「経費回収率」ともに前年度とほぼ同水準である。
 「汚水処理原価」は微増、同様の処理を進めてもコロナの影響で経費等が高騰しているため、今後も増加することが予想される。
 「企業債残高対事業規模比率」は、地方債現在高をすべて一般会計負担額として計算しているため、数値が出てこない。
 「施設利用率」は微増しているが、今後の人口減少などにより減少することが考えられる。
 「水洗化率」の増加は、水洗化人口総数の捉え方が間違っており、正しい数値で計算した結果である。
 一般会計負担額で経営の大部分を賄っているのが現状であり、健全性・効率性ともに良くない状態が続いている。

2. 老朽化の状況について

浄化センターは、経年劣化により修繕箇所が増加している。電気設備の更新工事を実施予定であったが、予算の確保ができず、令和5年度実施予定。
 スtockマネジメント計画が更新の時期を迎えるため、先に計画の更新を実施、今後の維持管理の目安とする。
 管渠については比較的新しいため、点検・調査を行っていくことで、異常箇所を早期に発見し、維持管理に努めていく。

全体総括

2系列運転を開始し維持管理費用が増加、コロナの影響で諸経費の高騰も重なり、厳しい経営状況となっている。また、一般会計の負担により経営の大部分を賄っており、一般会計の負担も増大している。
 長年の懸案事項であった下水道料金の改定を行ったが、2系列運転費用の一部を賄える程度。大幅な増額改定は村民の負担となるため、徐々に改定を進めていく予定である。
 Stockマネジメント計画による計画的な維持管理をし、経費の平準化にも努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。